現行環境基本計画とSDGsとの関係

長期的目標及び基本施策 ＼ 該当目標	貧困	飢餓	保健	教育	水・衛生	エネルギー	成長・雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産・消費	気候変動	海洋資源	陸上資源	パートナーシップ
1　持続的な発展が可能となる低炭素のまち														
○　省エネルギーの促進や再生可能エネルギーの普及拡大等による地球温暖化対策の推進		○	○			○			○	○	○			○
2　自然環境と調和した快適で安全・安心なまち														
①　公害のない安全安心な生活環境の保全			○		○				○	○		○		
②　生物多様性の恵み豊かな自然環境の保全					○				○			○	○	○
③　自然環境と調和した文化や暮らしが広がる京都人らしい快適生活の確保									○				○	
3　資源・エネルギーの有効活用と環境負荷の低減を図る循環型のまち														
①　２Ｒと分別・リサイクルの促進の２つを柱としたごみ減量の推進	○	○							○	○		○		○
②　廃棄物の適正処理とエネルギーとしての有効活用						○			○					
4　環境保全を総合的に推進するためのひと・しくみづくり														
①　環境教育・学習を通じた理解と行動の促進及び人材育成				○					○	○	○	○	○	
②　広範な主体の協働による環境保全活動の促進				○					○					○
③　地産地消をはじめとする環境にやさしい社会経済のしくみづくり							○	○	○	○				
④　他都市との連携及び国際的な取組の推進				○					○					○

※京都市の政策の実施において，前提として考慮されている目標

ジェンダー　不平等　平和・社会的包摂

資料２
（別紙２）